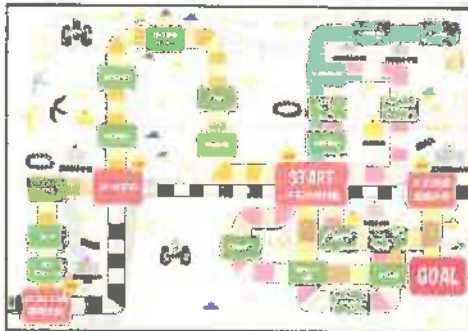


交通すごろくを用いたプログラムの特長

- 交通すごろくを用いた授業を実践し、
  - <低学年> 当別町の地理的環境や公共施設の位置を学習します。
  - <高学年> 用いる交通機関によりCO2排出量が異なることを学習します。
- すごろくゲームを通じて、学習することから、地域やバスについての興味が向上します。



←交通すごろくマップ(案)

←ミッションカード(案)



↓交通機関カード(案)



交通すごろくのルール

- ① ミッションカードをめくる
- ② 『スタート』からミッション達成をめざす。
- ③ 交通カードを選び、サイコロをふって進む
- ④ ミッションの場所に着いたら、1回、STOP!!
- ⑤ 『ゴール』へ向い、着いたら終了
- ⑥ 交通カードの枚数からCO2排出量を計算

	徒歩	JR	バス	クルマ
ふるサイコロ数	1個	1個 (独踏を進める)	2個	3個
CO2排出量 (1枚当り)	0kg	1kg	3kg	10kg

- ⑦ 『ゴール』到着の順位  
(ゴール到着が一番早いひとが1位)  
+  
CO2排出量の順位  
(CO2排出量が一番少ないひとが1位)

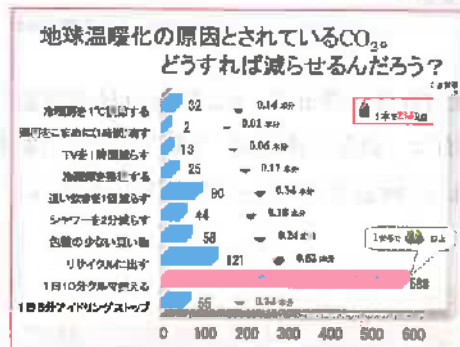
最終順位決定  
2つの順位をたして、その値が小さいと勝ち

※2コマ・90分(1日)の授業を想定※対象とする学年によりルールを変えての授業が可能です。

交通日記を用いたプログラムの特長

- 交通日記を記録(3日間)し、それを分析し、各児童及び個人に診断カルテを提供(交通におけるCO2排出量等を視覚化)することにより、自らの交通行動を見直すきっかけに繋がります。
- 児童と保護者を対象とすることで、家族と一緒に環境問題について考えることができます。
- クルマ利用の利用方法を通じて、公共心を育成することができます。

↑交通日記



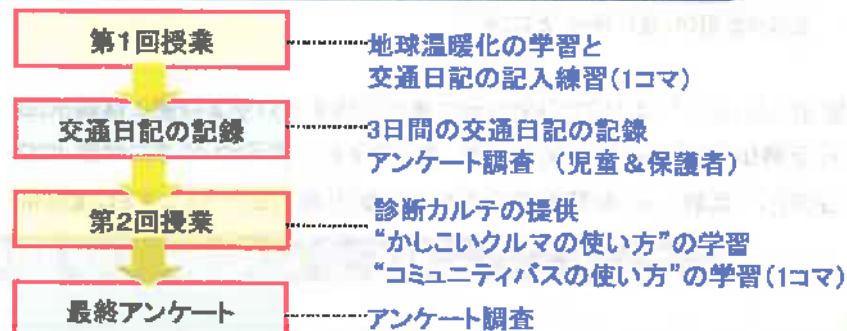
↑授業の中で使用するスライド

各児童・保護者の交通日記を分析・提供

↑診断カル

※具体的な環境問題を取り扱うことから適正な対象学年は小学校5年生以上で、総合学習や社会科での実践が望ましいです。

交通日記を用いたプログラムの実施例(2回の授業実践)



※これは実施例であり、授業回数が1回や3回の授業構成も可

BDF車両を用いたプログラムの特長

- ・当別町コミュニティバスは使用済みてんぷら油(廃食油)から精製したBDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)を燃料として運行しています。
- ・BDF燃料によりバスを運行することは、資源の活用(リサイクル)の観点から環境にやさしく、また、燃料費も安価になります。
- ・BDF燃料で運行するバス車両を授業に持ち込むことにより、リアリティの高い、環境学習が実践でき、公共心の育成に寄与します。

※2コマ・90分(1日)の授業を想定

授業の  
流れ

地球温暖化の説明

- CO2が地球温暖化に及ぼす影響

交通とCO2の関係の学習

- 交通分野におけるCO2排出の現状
- その解消方法

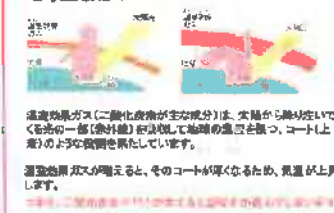
BDFの仕組みと効果

- 廃食油からBDFの製造までの流れ
- BDFを用いることによる環境負荷軽減効果

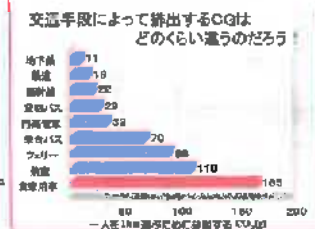
路線バスの持ち込み(BDF運行バス)

- 廃食油の回収方法の説明
- バスの乗り方・試乗運転

地球温暖化のメカニズム



←授業の中で使用するスライド例



- てんぷら油がエネルギーに生まれ変わる！！
- BDFのどうやって作るの？
- てんぷら油と環境
- 地球のためにできること



▼ バスの乗り方



- 路線図・時刻表の見方
- 駅や図書館などへのバスでの行き方

▼ 廃油回収方法



- 実際にペットボトルを回収ボックスの中へ入れる
- 家での廃食油収集方法の説明

▼ 児童を乗せて走行



- BDFの“クリーンさ”を実際に体験
- 授業で学んだBDFで走行するバスで実際に町中を運行

使用済みてんぷら油回収のご協力をお願い

当別ふれあいバスは使用済みてんぷら油(廃食油)から精製するBDFを燃料として運行しています。今は、飲食店等から廃食油を回収し、BDFを精製していますが、町内のみでは約9,000リットル足りなく、町外の飲食店等から回収しています。

そこで、小学校を回収拠点のひとつとして、廃食油の回収にご協力いただきたくお願いします。

【方法】

- 2週間に1度ぐらいの頻度で、使用済みてんぷら油を回収する日を決める。
- 回収日に児童がペットボトル等に使用済みてんぷら油を入れ、学校に昼校する。
- 児童が持ってきた使用済みてんぷら油を、ペットボトルのまま回収する。
- 数日以内に、使用済みてんぷら油を回収に伺います。

※お礼として、廃食油50ℓに対して、図書券(500円相当)が1枚を贈呈致します。

※帯広市の小学校においても実践中

※具体的な環境問題を取り扱うことから適正な対象学年は小学校4年生以上で、総合学習や社会科での実践が望ましいです。